

	発言要旨		市のコメント	担当課
1	市民の芸術作品の選奨及び買い取りについて	平成17年頃まで旧花巻市では、美術選奨や美術奨励の制度があり、良い作品については市で買い上げ保管していたが、合併により廃止された。市民の芸術文化活動の奨励及び助成のあり方についてどのように考えているのか。	市民の美術展を開催した際に、市長賞のような賞を授与することは検討する余地があると思うので考えたい。だが、市が作品を買い上げすることは保管する場所がないため現実的に難しい。(市長)	生涯学習課
2	芸術作品の保管について	市で保管している芸術作品について、今後どのように管理していくのか。前の市長からは、萬鉄五郎美術館や他の施設も手狭になり保管できないため、寄附の申し出があっても断ざるえないと伺った。市民の優れた作品をないがしろにするわけにはいけないと思う。具体的に保管、選奨をどうしていくのかは緊急な課題だと思う。	美術品は、花西振興センターの一室に置かれた状態で保管していると伺っている。このような管理の仕方は好ましくないが、萬鉄五郎美術館の保管庫も空きがない状態。重要な作品についてはエアコンが整備された施設で保管しているが、他の作品は分散して保管されているので、保管場所を検討しているが、施設の管理上エアコンを整備することは難しいとのこと。このような状況の中で、更に美術品を買い上げて管理するとすれば、億単位のお金をかけて保管庫を整備することが必要となるが、市の財政を考えるとそのような状況にはないと思っている。(市長)	生涯学習課
3	伝統工芸にかかる懇談会について	伝統工芸の問題 地元の工房とか匠の技術は市内全域さまざまあるが、伝統工芸の伝承や振興をどうするのかという問題があると思う。ぜひ、市と芸術団体と情報交換や提言するための懇談会の場を設けてほしい。	伝統工芸については、良いものはたくさんあるが経済性が上手くいっていないものもある。伝統工芸を保存していくために何ができるのか市でも考えていかなければいけないと思う。懇談の場はなるべく持ちたいと思うが、他にも用務が多くあるためなかなか時間をとることが難しい。担当部長、課長との懇談会の機会をぜひ設けたい。提案いただければ対応したい。(市長)	生涯学習課 商工労政課
4	石鳥谷生涯学習会館のユニバーサル化について	石鳥谷生涯学習会館は芸術祭など催しもあり、多くの人に利用されているが、まず館内に入るまでの5～6段の階段が大変との声がある。更に、茶室を利用するためには3階まで昇る必要があり高齢者はとても大変である。エレベーターの設置を検討いただけないものか。	ユニバーサル化は必要であり、検討しなければいけないと思う。エレベーターについては建物が設置可能な構造なのかどうか調査が必要となる。なるべく早く調査したいと思う。(市長)	生涯学習課 石鳥谷総合支所 地域振興課
5	宮沢賢治や芸術文化を生かしたまちづくりについて	花巻で暮らしている人間が、芸術文化において他の地域と違うのは、宮沢賢治が生まれた地だということ。そうした中で市外、県外の方からも宮沢賢治の郷で芸術文化に取り組んでいる花巻市民との交流の機会も多いと思う。他の人たちとの交流やこどもたちに様々なことを体験してもらい積み重ねることで、花巻に誇りを持つことができるし、他から花巻に移住して活動をしたいと思っている人たちにとっても大きな魅力である。花巻のまちづくりにおいて宮沢賢治や芸術文化の果たす役割は大きいと思うがどうか。	宮沢賢治に関して市民の相当程度は同じ意見だと思うが、その上で何ができるかということ。人によって考え方は違うと思うので、もう少し議論する必要がある。街中に宮沢賢治を材料にしたものを作れば観光客が来るのではという声もあるが、市内の中心部は戦災を受けたため賢治の時代の町並みは残っていない。よっぽど足を運んでみたいと思えるようなものがないと観光客は来ないので、ハードの整備は難しい。今年も宮沢賢治の関連行事などを行う予定としている。いいソフト事業や意見があれば支援したいと思っている。(市長)	生涯学習課 賢治まちづくり課